



● 草の根パートナー型

平成20年度第1回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	四川省成都市過疎貧困農村における生計向上志向農民の定着のための基盤整備プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	四川省の農村地帯では、農業の不振により農村の荒廃が進んでいる。成都市金堂県では、灌漑水路および付属施設の60%は適切な整備がなされておらず、営農に支障を来している。中央政府は、農村荒廃の解決策として「社会主義新農村建設」構想を立ち上げ、農村のインフラ整備計画など各種施策を打ち出し、灌漑などの末端施設の補修には農民の自助努力を求めている。しかし、計画地区には農業開発に対応できる技術者が質、量共に不足しており、さらに、四川大地震の復旧にも対処が必要となったため、農業、水利、農業施設などの基礎的な知識を持った技術者の養成が急がれている。
4. 事業の目的	対象農家において、農業生産性の向上と雇用機会の創出による生計向上基盤が作られること
5. 対象地域	中国四川省成都市金堂県の8郷鎮及び四川大地震被災地区
6. 受益者層	対象地区から選定された農民350人とその家族
7. 活動及び期待される成果	<p>【成果1】</p> <p>研修センターに研修システムが構築される</p> <p>【活動1】</p> <p>1-1 研修センター運営委員会の育成・支援を強化する            1-2 研修カリキュラム（場所、教材、講師）を策定する            1-3 講師を育成する            1-4 センターの運営状況をモニタリングする            1-5 運営委員会に予算及び人材手当ての働きかけを行う</p> <p>【成果2】</p> <p>用水管理に関与する人材が育成される</p> <p>【活動2】</p> <p>2-1 灌漑、農業施設復旧及び営農の研修を実施する            2-2 受講生に具体的な改修方法を指導する            2-3 フォローアップ研修を行う</p> <p>【成果3】</p> <p>水利組合が強化される</p> <p>【活動3】</p> <p>3-1 受講生に水利組合の重要性を理解させる            3-2 研修後の水利組合運営状況をモニタリングする</p> <p>【成果4】</p> <p>灌漑施設が整備される</p> <p>【活動4】</p> <p>4-1 灌漑施設の要補修箇所を選定する            4-2 野外実習で補修作業を行う            4-3 自助努力による補修を意識改革を通して促進する</p> <p>【成果5】</p> <p>雇用機会が増加する</p> <p>【活動5】</p> <p>5-1 受講農民の資格認定制度を確立する</p>
8. 実施期間	2009年5月～2012年3月（約2年10ヵ月間）
9. 事業費	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	（社）日中青年研修協会が主体となり、（社）AOTS成都同学会を中心に四川大学、西南交通大学、市建設委員会、金堂県就業培訓センター等の協力を受けて行う。講師陣は主として中国側が受持つ。日本側は担当分野に関し協力する。
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名	社団法人 日中青年研修協会
2. 活動内容	（1）中国緑化事業協力（日中緑化交流基金）、（2）中国研修生・留学生受入、（3）日本人留学生の中国派遣等、（4）日中学術・文化交流
3. 対象国との関係、協力実績	1979年の設立以降、上述活動を継続的に実施している。